

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者の情報

応募した者（東部農業委員会）

応募区域	氏名	性別	年齢(歳)	職業	経歴		農業経営の状況	応募する理由	農業委員への推薦の有無
					年月日	職名・役職等			
三谷4 三谷5 三谷6 三谷7	下條 光次	男	77	農業及び民生児童委員他	昭和37.4.1 平成20.7.30 平成20.8～	(株)九電工入社 技術職として 転々と転勤及び兼業農家を続ける。 九電工を定年退職。 兼業農家として現在に至る。 農業従事期間：45年 年間従事時間：800時間	・水稲 5,118㎡ ・野菜（季節野菜の栽培等） 411㎡ ・山林の管理	まず始めに各地区ごとに順番制で話し合いもなく決定するのはどうかと思う。これでは各人の意気込みが薄れます！！ *私の農業推進委員への意気込み 農業従事者は少なくなり、又、高齢化が進み、後継者がいなくなりつつあります。 遊休農地が増大し、これが現状です。これからの農家はどうかあるべきかと考える時期に来ています。 農業委員、推進委員が先頭に立って問題点に取り組むべきだと思っています。 *私が推進委員になった場合は (1)農家を離れる人達との対話を持ち、どうすれば良いか問題点を探る。 (2)魅力ある農作物、採算の取れる米作り、野菜作りを研究する。 (3)農水路の確保等を地元住民と協力して確立する。 (4)担い手が少なくなり、機械購入等でコスト高になっている。 (5)中農家、小農家は採算が取れず離農者が増えている。 (6)大規模農家への推進を計る。 以上のような問題点を農政と一対となって対策を考えるとと思う。	無